

# 第3学年 音楽科授業構想シート

令和3年12月20日(月) 1校時  
 場所 音楽室  
 授業者 教諭 B

単元名 器楽合奏 「楽器の音色や楽曲の良さを生かして、表現を工夫しよう。」

## 1 学習指導要領とのかかわり

### 目標

(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

A 表現 (2) 器楽の活動を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫すること。
- イ 次の(ア)(イ)について理解すること。
- ㊦ 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり
- ウ 次の(ア)(イ)の技能を身に付けること。
- ㊧ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能

## 2 単元でつきたい力

- 音楽活動を楽しむ体験を通して、器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりするとともに、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。

## 3 単元計画

- 第1時：つきたい力、取組の内容を理解する。班長を中心に、グループに分かれて自分の担当や目標、学習内容を明確にする。
- 第2～4時：基本の授業の流れを使って、グループで練習に取り組む。
- 第5時：練習した成果を発表し、互いの演奏を楽しむ。

## 4 本時の指導

### (1) 本時でつきたい力

- ① 自分で選び、自分で学び、最後までやり抜く。失敗は財産！困った時は他人の力を借りることも含めて、主体的に、調整しながら、学び続ける力を意識させる。
- ② 自分で選んだ音楽活動に取り組む体験を通して、音楽に親しんでいく態度を養う。
- ③ 全体の響きや音を聴きながら、他者と合わせて演奏したり、曲にふさわしい表現を創意工夫する。

### (2) 展開

学習活動	手立て
1 前時の振り返りを行い、本時のめあてを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の活動の良い点と注意点について最初に確認し、より良い活動を示唆する。</li> <li>・Classroomで、前時の振り返りや学習内容などは事前にパターンを送り、確認できるようにしておく。</li> <li>・班長には、事前の指示をしておく。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;めあて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分で選んだ音楽活動に、調整しながら最後まで取り組む。</li> <li>○ 全体の響きや曲の良さを生かしながら、他者と合わせたり、ふさわしい表現を工夫する。</li> </ul> </div>	

<p>2 グループで、本時の練習内容の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全員、ひとこと発言する。</li> </ul> <p>3 練習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 班長にメンバーの活動内容を把握させ、問題があれば助言したり、教師に相談するよう支援しておく。</li> <li>• 全員、自分の言葉で話す場面を毎回設定して慣れさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 10名程度、自主練習できない生徒が予想されるので、他の選択肢を用意しておく。</li> <li>• 教師の手が空かない時は、先生への質問を質問シートに書いて渡すシステムとする。</li> <li>• グループを巡回し、適切にアドバイスをする。</li> </ul>
<p>&lt;まとめ（振り返り）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既習事項（音楽の三要素や曲の構成）に注意して練習できたか振り返る。</li> <li>○ 「成長できたこと」と「できなかったこと」を明確にして、次時に必要なことを考える。</li> </ul>	
<p>4 授業アンケートを記入する。</p> <p>5 グループで反省会を行い、進行状況を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全員、ひとこと発言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 毎回記入し、PDCA サイクルで学習を深める習慣を作る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全員、自分の言葉で話す場面を毎回設定して慣れさせる。</li> <li>• 全員で活動内容を共有して、思考を広げるヒントにする。</li> <li>• 互いに助言や相談ができるよう班長を支援しておく。</li> </ul>

評価基準（Bのみを記入）

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
<p>創意工夫を生かし、全体の響きや楽曲を聴きながら他者と合わせて演奏することができる。</p>	<p>器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。</p>	<p>主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいる。</p>